

【記入例】

施工状況実態調査 調査票

【調査票_絶縁ケーブル工】

本調査は、公共建築工事の施工実態を把握することを目的とし、公共建築工事の積算基準に反映するために実施しているものです。また、労務費の基準の設定にも活用される可能性があるものです。
調査票の記入結果については国土交通省における検討以外の目的には使用せず、また外部には公開いたしません。主旨をご理解いただき、事実をありのままご回答下さい。

○提出いただいたデータの取扱いについて

ご提出いただいたデータは本調査の目的以外に使用することなく、秘密保持に努め、情報漏洩等が無いよう十分注意し取り扱い致します。

国土交通省 大臣官房 官庁営繕部

複雑：例えば、上層階がセットバックしている建物などです。内部が複雑な建物のことではありません。
外形が単純（外形が、基準階から最上階まで概ね同一平面の多いものは、内部の間仕切りが同一でない場合でも「単純」にして下さい。

【就労形態】

▼をクリックして以下から選択

- ・①: 4週8開所 ・②: 4週7開所
・③: 4週6開所 ・④: 4週5開所
・⑤: 4週4開所 ・⑥: その他

【建物種別】

▼をクリックして以下から選択

- ・庁舎 ・学校
・研究所 ・福祉施設
・病院（対象外→モデル建物で回答して下さい）
・体育館（対象外→モデル建物で回答して下さい）
・その他（対象外→モデル建物で回答して下さい）

【構造】

▼をクリックして以下から選択

- ・RC造 ・SRC造・S造
・その他（対象外→モデル建物で回答して下さい）

【階高】

▼をクリックして以下から選択

- ・2.8m程度（対象外→モデル建物で回答して下さい）
・3.5～5.0m程度
・その他（対象外→モデル建物で回答して下さい）

【概要】全体調査票

記入例

絶縁ケーブル工

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するをお願いします。

2次側絶縁ケーブル（ころがし配線含む）工事を下請業者に依頼した場合、記入してください。

施工概要

施工会社名・支店名	(株)〇〇建設・〇〇支店	所在地	〒	〇〇〇-〇〇〇〇
				東京都港区新橋〇〇
TEL	03-1234-5678	FAX		03-1234-5679
御担当者	建設 太郎	E-mail		〇〇〇@〇〇〇.or.jp
工事名	〇〇総合庁舎	【工期】		▼から「年」「月」「日」を選択
施工場所	東京都			
工期	2023 年 4 月 1 日 から	契約金額	元請	〇〇〇〇〇
	2024 年 7 月 30 日 まで	(税抜)	下請	〇〇〇〇〇
就労形態	① ④週8休、②4週7休、③4週6休、④4週5休、⑤4週4休、⑥その他 ()			
建物種別	庁舎	【形状】		▼をクリックして以下から選択
構造	RC造			・単純（基準階から最上階まで同一平面の多いもの）
階高	3.5～5.0m程度			・複雑（基準階から最上階まで同一平面の少ないもの）対象外→モデル建物で回答して下さい
形状	単純（基準階から最上階まで同一平面の多いもの）			・その他（対象外→モデル建物で回答して下さい）
延床面積 (㎡)	約5,000	階数	地下	0 地上 5
総施工量 (㎡) ※2次側絶縁ケーブル（ころがし配線）	6819			
施工制約および施工障害	時間的制約の有無	有	有の場合	: (近隣住民との協議で9:00～17:00)
	交通規制の有無	有	有の場合	: (近くに小学校あり)
	作業ヤード狭隘の有無	有	有の場合	: (大型車での資材搬入不可)
	その他		具体的な内容	: ()
	その他		具体的な内容	: ()
	その他		具体的な内容	: ()

【総施工量】

記入対象は、ころがし配線 のみの施工量です。

【施工制約および施工障害】

（時間的制約の有無・交通規制の有無・作業ヤード狭隘の有無）

▼をクリックして以下から選択

- ・有
・無

【様式 1 - 1】施工別概要

記入例

絶縁ケーブル工

①～③は【建物全体】、【任意のフロア（階）】のどちらか一方を入力して下さい。

建物 1 棟を施工するに当たり、絶縁ケーブル工事で作業員何人で何時間かかるかの歩掛りを把握するための調査です。

調査対象の2次側絶縁ケーブルはEEFケーブルもしくは、VVFケーブルのみとなります。

①【建物全体】工事全体の作業時間

項目	単位	作業時間・作業員数	
工事全体の作業時間（延べ作業時間×延べ作業人員）	h	3360	
工事全体における1日当りの平均的な作業員数	人/日	4	

※記入が難しい場合は、②、③のみ入力してください。

②【建物全体】工事全体の作業時間の内、2次側絶縁ケーブル作業時間（対象作業は下表の絶縁ケーブル工事の構成内容を参照）

項目	単位	作業時間・作業員数	
2次側ケーブルの作業時間（延べ作業時間×延べ作業人員）	h	2800	
2次側ケーブルの作業における1日当りの平均的な作業員数	人/日	4	

※記入が難しい場合は、③のみ入力してください。

③【建物全体】2次側絶縁ケーブルの作業時間の内、ころがし配線の作業時間（対象作業は下表の絶縁ケーブル工事の構成内容を参照）

項目	単位	作業時間・作業員数	備考欄
ころがし配線の作業時間（延べ作業時間×延べ作業人員）	h	1400	
ころがし配線の作業における1日当りの平均的な作業員数	人/日	4	

※作業時間には、朝礼・KY、作業の準備・片付け、残業時間を含みますが、昼休憩などの休憩時間は対象外として下さい。

※ころがし配線とは二重天井内配線（つりボルト及びケーブルグリップ等を用いた先行配線含む）及び一重天井内配線に於きます。

建物 1 棟の内、任意のフロア（階）を施工するに当たり、絶縁ケーブル工事で作業員何人で何時間かかるかの歩掛りを把握するための調査で下記項目について該当する部分のみご回答下さい。

①は絶縁ケーブル工事全体の作業時間を対象に記入して下さい。
②は、①のうち、2次側ケーブルの作業時間を記入して下さい。
③は②のうち、ころがし配線の作業時間を記入して下さい。

2次側絶縁ケーブル（ころがし配線含む）工事を下請業者者に依頼した場合は分担して、調査票の記載をお願いします。

2次側絶縁ケーブル（ころがし配線）は様式 1 - 3 に記載した数量が対象となります。

①【任意のフロア（階）】工事全体の作業時間

記入対象としたフロア（階）

調査対象の2次側絶縁ケーブルはEEFケーブルもしくは、VVFケーブルのみとなります。

項目	単位	作業時間・作業員数	備考欄
工事全体の作業時間（延べ作業時間×延べ作業人員）	h		
工事全体における1日当りの平均的な作業員数	人/日		

※記入が難しい場合は、②、③のみ入力してください。

②【任意のフロア（階）】工事全体の作業時間の内、2次側絶縁ケーブル作業時間（対象作業は下表の絶縁ケーブル工事の構成内容を参照）

項目	単位	作業時間・作業員数	備考欄
2次側ケーブルの作業時間（延べ作業時間×延べ作業人員）	h		
2次側ケーブルの作業における1日当りの平均的な作業員数	人/日		

※記入が難しい場合は、③のみ入力してください。

③【建物全体】2次側絶縁ケーブルの作業時間の内、ころがし配線の作業時間（対象作業は下表の絶縁ケーブル工事の構成内容を参照）

項目	単位	作業時間・作業員数	備考欄
ころがし配線の作業時間（延べ作業時間×延べ作業人員）	h		
ころがし配線の作業における1日当りの平均的な作業員数	人/日		

※作業時間には、朝礼・KY、作業の準備・片付け、残業時間を含みますが、昼休憩などの休憩時間は対象外として下さい。

2次側絶縁ケーブル（ころがし配線）は様式 1 - 3 に記載した数量が対象となります。

③における作業時間を作業毎に割合に分けて記入して下さい。

④2次側ケーブル作業項目・作業割合（③のころがし配線の作業時間の割合）

※準備・清掃片付け、足場の組立・移動・撤去、発生材の指定場所への集積等、都度発生する作業は、各項目に含めてください。

項目	単位	作業の割合	備考欄
雑作業	%	10	
荷揚げ・場内小運搬	%	10	
配線作業（寸法取り、分岐、接続等）	%	70	
機器接続	%		絶縁ケーブル工の作業には含まれないため、対象外とする。
試験調整	%	10	
合計	%	100	

※作業項目のうち、機器接続は「絶縁ケーブル工」に含まれません。機器接続を除いた上で、合計が100%になるようにご記入下さい。

【様式 1 - 1】施工別概要	記入例	絶縁ケーブル工
-----------------	-----	---------

絶縁ケーブル工事の構成内容

下表は、絶縁ケーブル工事の構成内容である。適用欄の○印は歩掛り構成に含み、×印は含まない。

費目	構成内容	適用	主たる内容
材料費	主材料	○	絶縁ケーブル（VVF）、（EM-EEF）
	支持材	○	結束バンド、ステーブル、ケーブルクランプ、サドル、カールプラグ、インサート、吊ボルト、支持部材料等（但し、メッセンジャーワイヤーは含まない）
	消耗品・雑材料	○	スリーブ類、電線コネクター、絶縁テープ類、線名札、ウエス、補修材、潤滑剤、養生材
労務費	小量出し	○	寸法取り
	加工組立	○	寸法切り、分岐、接続、テーピング
	取付・固定支持	○	通線（配線）
	機器接続	×	器具、機器への接続
	荷揚げ	○	揚重機への積込・積下ろし手間
	場内小運搬	○	水平小運搬
	準備・雑作業	○	作業前打合せ、段取り、工具の点検、養生、回路表示
	施工後の点検	○	作業員による施工後の自主点検
	試験調整	○	導通試験、絶縁抵抗試験、回路試験
	作業用足場	○	脚立等の作業用足場の組立・移動・撤去（高所作業車本体及びその搬入・搬出費は含まない）
	清掃片付け	○	
	持込材管理	○	持込材の集積・片付け・管理
	発生材処理	○	指定場所への集積
	発生材処分費	×	発生材の場外搬出及び処分費
雑費	機械損料	○	専用機械の損料
	運搬費	○	機械・工具等に関するもの
諸経費		○	専門工事業者の諸経費（総合設備工事業者の諸経費は含まない）

※配線方式はこらがし配線とする。

【様式 1 – 2】諸経費率

記入例

絶縁ケーブル工

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

各種経費について貴社の率をご回答下さい。

絶縁ケーブル工

①諸経費率	労務費×		%
-------	------	--	---

※各率の内訳は下表による。

対象となる項目は、○を選択して下さい。

①諸経費の内訳 記入された率に含む項目は対象欄から○を選択して下さい。

①-1 現場管理費の項目		内容	対象
1	労務管理費	現場雇用労働者（各現場で元請企業が臨時に直接雇用する労働者）および現場労働者（再下請を含む下請負契約に基づき現場労働に従事する労働者）の労務管理に要する費用 ・募集および解散に要する費用 ・慰安、娯楽および厚生に要する費用 ・純工事費に含まれない作業用員および作業用被服等の費用 ・賃金以外の食事、通勤費等に要する費用 ・安全、衛生に要する費用および研修訓練等に要する費用 ・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用	○
2	租税公課	工事契約書等の印紙代、申請書・謄抄本登記等の証紙代、固定資産税・自動車税等の租税公課、諸官公署手続き費用	○
3	保険料	火災保険、工事保険、自動車保険、組立保険、賠償責任保険および法定外の労災保険の保険料	○
4	従業員給与手当	現場従業員（元請企業の社員）および現場雇用労働者の給与、諸手当（交通費、住宅手当等）および賞与施工図等作成費施工	○
5	退職金	現場従業員に対する退職給付引当金繰入額および現場雇用労働者の退職金	○
6	法定福利費	雇用労働者および現場労働者に関する次の費用 ・現場従業員、現場雇用労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額 ・現場労働者に関する労災保険料の事業主負担額 ・建設業退職金共済制度に基づく証紙購入代金	○
7	福利厚生費	現場従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、慶弔見舞等に要する費用	○
8	事務用品費	事務用消耗品費、O A 機器等の事務用備品費、新聞・図書・雑誌等の購入費、工事写真代等の費用	○
9	通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
10	補償費	工事施工に伴って通常発生する騒音、振動、濁水、工事用車両の通行等に対して、近隣の第三者に支払われる補償費。ただし、電波障害等に関する補償費を除く。	○
11	その他	会議費、式典費、工事実績の登録等に要する費用、その他上記のいずれの項目にも属さない費用	○

①-2 一般管理費等の項目		内容	対象
1	役員報酬	取締役および監査役に要する報酬および賞与（損金算入分）	○
2	従業員給与手当	本店および支店の従業員に対する給与、諸手当および賞与（賞与引当金繰入額を含む。）	○
3	退職金	本店および支店の役員および従業員に対する退職金（退職給与引当金繰入額および退職年金掛金を含む）	○
4	法定福利費	本店および支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額	○
5	福利厚生費	本店および支店の従業員に対する慰安、娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等の福利厚生等に要する費用	○
6	維持修繕費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	○
7	事務用品費	事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品、新聞参考図書等の購入費	○
8	通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
9	動力用水光熱費	電力、水道、ガス等の費用	○
10	調査研究費	技術研究、開発等の費用	○
11	広告宣伝費	広告、公告又は宣伝に要する費用	○
12	交際費	得意先、来客等の接待、慶弔見舞等に要する費用	○
13	寄付金	社会福祉団体等に対する寄付	○
14	地代家賃	事務所、寮、社宅等の借地借家料	○
15	減価償却費	建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額	○
16	試験研究償却費	新製品又は新技術の研究のための特別に支出した費用の償却額	○
17	開発償却費	新技術又は新経営組織の採用、資源の開発並びに市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額	○
18	租税公課	不動産取得税、固定資産税等の租税および道路占有料その他の公課	○
19	保険料	火災保険その他の損害保険料	○
20	契約保証費	契約の保証に必要な費用	○
21	雑費	社内打合せの費用、諸団体会費等の上記のいずれの項目にも属さない費用	○
22	付加利益	法人税、都道府県民税、市町村民税等（租税公課に含むものを除く） 株主配当金 役員賞与（損金算入分を除く） 内部留保金・支払利息および割引料、支払保証料その他の営業外費用	○

【様式1-3】使用材料等調

主材料①の記入対象は、配線方式『ころがし配線』が対象です。

(例)・名称：絶縁ケーブル・規格：600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 2心 1.6mm
:600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 3心 2.0mm

記入例

絶縁ケーブル工

※黄色の箇所は記入するようお願いします。

※記入する材料は、様式1-1で記入した、【建物全体】、【任意のフロア（階）】に合わせて記入して下さい。

■主材料（ころがし配線で使った絶縁ケーブル材）

※設計数量とは、設計図書に記載されている個数や設計寸法から求めた長さを言います。実数量とは、切り無駄、重ねしろ、施工上やむを得ない損耗、配線工事の迂回、弛み等のロスを含んだ数量を言います。

番号	名称	規格・メーカー名・型式	単位	数量（様式1-1の対象）		備考 ※調査対象の2次側絶縁ケーブルはEEFケーブルもしくは、VVFケーブルのみとなります。
				設計数量	実数量	
1	絶縁ケーブル	600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 1.6mm- 2C	m	1534	1700	
2		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 1.6mm- 3C	m	1163	1250	
3		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 2.0mm- 2C	m	76	100	
4		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 2.0mm- 3C	m	4042	4100	
5		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 2.6mm- 2C	m	4	6	
6		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(EM-EEF) 2.6mm- 3C	m			
7		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(VVF) 1.6mm- 2C	m			
8		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(VVF) 1.6mm- 3C	m			
9		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(VVF) 2.0mm- 2C	m			
10		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(VVF) 2.0mm- 3C	m			
11		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(VVF) 2.6mm- 2C	m			
12		600V※リフレイン絶縁耐燃性※リフレインケーブル(平型)(VVF) 2.6mm- 3C	m			
13			m			
14			m			
15			m			

設計数量、実数量を両方ともご回答下さい。

予め記載のない材料については、規格からご回答下さい。

■雑材料（ころがし配線に使用）

番号	支持材 名称	備考	消耗品・雑材料 名称	備考
1	結束バンド		スリーブ類	
2	ステーブル		電線コネクタ	
3	ケーブルクリップ		絶縁テープ類	
4	サドル			
5	カールプラグ			
6	インサート			
7	吊ボルト			
8	支持部材類等（ヤシロジャック等は含まない）		養生材	
9	〇〇		△△	
10				
11				
12				

2次側ケーブルのころがし配線で使った支持材、消耗品・雑材料の合計費用を主材料費との割合で回答して下さい。

(例) 主材料費 計 100万円
支持材、消耗品・雑材料費 計3万円
元請用意：2万円 = 100万円 × 2%
専門業者用意：1万円 = 100万円 × 1%

支持材、消耗品、雑材料について、追加がある場合は、黄色の自由記入欄に追加して下さい。

■雑材料費の率

左表の支持材、消耗品・雑材料費の合計が主材料費の何%に値するか記入して下さい。

※雑材料を元請、専門業者とでそれぞれで用意した場合は、分けて記入して下さい。

元請入力欄

支持材費 + 消耗品費 + 雑材料費 =

主材料費 × %

専門業者入力欄

支持材費 + 消耗品費 + 雑材料費 =

主材料費 × %

※支持材、消耗品・雑材料は上記の項目を想定しますが、その他にも必要であれば黄色箇所名称を記入して下さい。

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するをお願いします。

本調査票には、様式1-1（絶縁ケーブル工）の内訳についてご回答下さい。
標準的な労務編成は『様式1-1④2次側ケーブル作業項目・作業割合（③のころがし配線の作業時間の割合）』の「配線作業」を対象として下さい。
機械は④全体で使用した機械について入力して下さい。

1. 絶縁ケーブル工（2次側ケーブル ころがし配線）

調査対象の2次側絶縁ケーブルはEEFケーブルもしくは、VVFケーブルのみとなります。

項目等					数量等		備考欄			
施工時間 (標準的な1日を対象とする)	現場始業時間				9:00					
	現場終業時間				17:00					
	朝礼・K Y等時間				15分		【施工時間】▼をクリックして時間を選択			
	準備・片付け				15分					
	休憩時間（昼休み含む）				60分					
	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）				7時間00分					
労務編成人員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。	作業員	職種	年齢	経験年数	備考					
	1	電工	31～40歳	7～10年未満						
	2	電工	21～30歳	3～7年未満						
	3				【経験年数】▼をクリックして以下から選択 ・0～3年未満 ・3～7年未満 ・7～10年未満 ・10～20年未満					
	4									
	5									
	6									
	7				【年齢】▼をクリックして以下から選択 ・15～20歳 ・21～30歳 ・31～40歳 ・41歳～50歳 ・51歳～60歳 ・61歳～70歳					
	8									
	9									
					【職種】▼をクリックして以下から選択 ・電工 ・特殊作業員 ・普通作業員					
	13									
	14									
	15									
	機械器具等 機械編成 (主要・補助機械)	番号	機械等名	規格・製品名	保有区分	機械の数量		総運転時間		※機械は、様式1－1「様式1-1④2次側ケーブル作業項目・作業割合（③のころがし配線の作業時間の割合）」全体を対象にして記入して下さい。
1		クレーン車 (クレーン車)	〇〇〇〇	自社保有	1	台	10	h		
2		自走式足場	作業床高3.8m	リース	1	台	20	h		
3		伸び馬	〇〇〇〇	自社保有	1	台	20	h		
4								h		
5								h		
6								h		
7								h		

「リース」とは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

絶縁ケーブル工事は平成19年度より市場単価方式に移行していますが、移行後から現在に至るまでに技術基準等の改定、新技術・新工法の開発による技術動向の変化、社会的環境の変化等により、施工実態に変化はありましたか。

下記項目について影響があった場合は、「生産性が向上した」・「生産性が低下した」の選択肢のうち、より影響が大きかった方を選択して下さい。

また、具体例についてもご回答下さい。

特に影響が無かった場合は、「影響は無かった」を選択して下さい。

■施工実態の変化について

項目		影響の有無 (生産性の向上・低下)	具体例
①	空調服の導入	生産性が向上した	熱中症対策として効果があり、作業効率が向上した
②	充電式電動工具の普及	影響は無かった	
③	コロナの影響	影響は無かった	
④	高齢化による影響		
⑤	担い手不足		人手不足により、作業の進捗に遅れが発生する
⑥	外国人材（技能実習生を含む）	影響は無かった	
⑦	週休2日（4週8閉所、6閉所などの休日の増加）	影響は無かった	
⑧	暑さ、寒さ等の気候による歩掛への影響	生産性が低下した	熱中症対策で休憩時間を以前より多くとる必要があり、作業時間が減少した
⑨	休憩時間の増加	生産性が向上した	
⑩	地域による歩掛への影響	影響は無かった	
⑪	現場のストックヤードや作業スペースの減少	影響は無かった	
⑫	運搬回数の変化	影響は無かった	
⑬	その他 ※具体的に記入		
⑭	その他 ※具体的に記入		
⑮	その他 ※具体的に記入		

■施工実態の変化について、何かご意見があれば自由にご記入下さい。

例：新技術の●●●が採用されると、生産性が向上する。

【様式4】規格間格差に関するアンケート

記入例

絶縁ケーブル工

※黄色の箇所は記入するようお願いします。

歩掛工数は、EM-EEFの3心 2.0mmの施工を標準（100）とした際に、他の規格では、どの程度の手間が増減するかを記入して下さい。

■規格間格差についてのアンケートです。下記項目についてご回答下さい。

1.条件別で歩掛り設定するためのアンケートです。代表仕様およびその他の仕様について、単価および代表仕様を100とした場合の歩掛り工数の差をご回答下さい。また、配線方式は『ころがし配線』を対象として下さい。

絶縁ケーブル工

No.	名称・規格		材工単価 (円/m)	歩掛り工数 (代表仕様＝100)	
①	600V ^ホ リエリン絶縁耐燃性 ^ホ リエリンシースケーブル(平型)(EM-EEF)	2心 1.6mm	¥390	95	
②		2心 2.0mm	¥500	95	
③		2心 2.6mm	¥510	100	
④		3心 1.6mm	¥600	100	
⑤		3心 2.0mm	¥660	100	
⑥		3心 2.6mm	¥860	105	
⑦	600V ^ビ ニール絶縁 ^ビ ニールシースケーブル(平型)(VVF)	2心 1.6mm	¥350	100	
⑧		2心 2.0mm	¥450	100	
⑨		2心 2.6mm	¥460	100	
⑩		3心 1.6mm	¥590	110	
⑪		3心 2.0mm	¥610	110	
⑫		3心 2.6mm	¥810	110	
	↓在庫単価の構成比（％）の対象とする企画を選択して下さい。		材工単価の構成比（％）		
	600V ^ホ リエリン絶縁耐燃性 ^ホ リエリンシースケーブル(平型)(EM-EEF) 3心 2.0mm		材料	労務費 (発生材処理を含む) 注1	諸経費
			55%	25%	20%
	600V ^ビ ニール絶縁 ^ビ ニールシースケーブル(平型)(VVF) 3心 2.0mm		材料	労務費 (発生材処理を含む) 注1	諸経費
			50%	30%	20%

（注）1. 発生材処理（ゴミなどの場内指定場所への集積）にかかる労務費は含みますが、発生材の処分にかかるころがし配線を標準（100）とした際の配線方式による掛差を記入して下さい。

2. 上記の『ころがし配線』方式と下記の各配線方式について、『ころがし配線』の歩掛を100とした場合の歩掛り工

配線方式					
ころがし	管内	PF管、CD管	ラック	木造(サドル・ステップ)	コンクリ(サドル・ステップ)
100	125	113	150	188	250

（例）ころがし配線と比較して、ラック配線では1.2倍程度の時間・手間等がかかる場合 → ラックに 120 と記入。

3. 貴社が職人に支払っている、おおよその平均日給（手当、賞与等含む）を可能であればご回答下さい。

電工 20,000円

4. ケーブルの規格により、作業時間に差異がある場合の要因についてご回答下さい。

ケーブル径が大きくなることで、曲げ難くなり作業効率が低下する。

5. ケーブルの規格により、材工単価に差異がある場合の要因についてご回答下さい。

材料費が占める割合が大きいため、規格毎に単価が変わる。労務費や諸経費はあまり変わらない。